

Peace Hiroshima Church 2013

音楽を聴くと、ピースになれる。
ライブを観ると、ピースになれる。
言葉を聞くと、ピースになれる。

Music, Live, Word

Nobody talks, Nothing changes
誰も話さなければ、何も変わらない。

2013年8月3日(土)

開場16:30 / 開演17:00 / 終演21:00

※イベント前の15:00~16:30まで、被爆ピアノと被爆者の絵を入場無料で公開します。

救世軍本営・山室軍平記念ホール

総司会 / ポエトリー・リーディング

司会

ロバート・ハリス

弓月ひろみ

ポエトリー・リーディング

舞踏

写真

六弦詩人義家 / レイナ・ブルームーン

伊藤虹

宮角孝雄

アーティスト

上畑正和 / ハイセイコース / 青山雅明 / F.I.B JOURNAL / タカツキ タツキ / toto

主催：ピースヒロシマ実行委員会 / 後援：ピースアーチひろしま、広島市、千代田区、中国新聞社、中国放送、東京広島県人会


協力：救世軍、FMおだわら


URL: <http://www.peacehiroshima.com> ※お問い合わせは、info@peacehiroshima.comまで。


入場料 ¥2,000 (一般)

¥1,000 (学生以下)

※収益の一部は、広島市にある被爆者特別老人ホームに寄付いたします。

 Peace Hiroshima

 Peace_Hiroshima

 Peace Hiroshima 実行委員会





広島から被爆ピアノがやってきます。

被爆ピアノとは、原爆の災禍をくぐり抜け、ガラスの破片などが突き刺さったままのピアノです。本公演では、この大変貴重なピアノを展示。実際に触れることができます。また、このピアノを使った演奏もご紹介します。



ロバート・ハリス

横浜生まれ。上智大学卒業後、71年日本を後にし、東南アジアを放浪。パリ島に1年間滞した後、オーストラリアに渡り延べ16年間滞在。シドニーで書店 & 画廊「エグザイル」を経営。オーストラリア国営テレビ局で日本映画の英語字幕を担当後、テレビ映画製作に参加。帰国後J-WAVEのナビゲーターや、作家としても活躍中。http://web-bohemian.sblo.jp/



上畑正和

作曲家・即興演奏家・ピアニスト・足踏みオルガン奏者。CM音楽を中心に、知恵泉（Eテレ）・サキドリ↑（NHK）・ドキュメンタリーほかTV番組の作編曲やアーティストへの曲提供などを手掛ける。サウンド作品も多数制作。
■CD「luzsombra」「Raz e del」「そよぎ」他



妹尾研祐 (ハイセイコース)

1994年東芝EMIから松尾宗仁(ex.ZIGGY)とユニットを結成し「ZNX(ジックス)」でデビュー。シングル6枚アルバム2枚をリリースし、その全楽曲の作詞を手掛ける。同ユニット解散後に作詞家、作曲家として楽曲を提供。



大嶋ジェット (ハイセイコース)

20歳の頃、単身、渡米。シカゴ・ニューオリンズにて演奏。ギターに関する様々な事を学ぶ。帰国後、都内ライブハウス・各種イベント等で演奏。国内外、各種イベントにも参加している。他に、ロックバンド、ギター・ユニットや、コンポーザーとしても活躍中。



青山雅明

12歳よりギターを弾き始め音楽活動を開始。1999年に倍音をテーマにしたバンド倍音S結成。2000年にトッパ共和国で行われたホームイコンテストでブループ部門2位を獲得。2004年10月に倍音Sを脱退。様々なユニットを経てSOLO活動を開始。2008年岡山守治と倍音デュオ神響王(カムヒビキング)結成。現在は日本の言葉と喉歌を中心とした原始的で素朴な弾き語りを中心に活動中。http://aoyama-masaaki.com/



F.I.B JOURNAL

山崎円城が2003年に立ち上げた国内屈指のポエトリー・ジャズ。コントラバスとドラムのセッションを基調とし、その上にスプークンワーズが絡む独特なスタイルは、現代のビートニク音楽、ビートニクの怒れるジャズ「ジャズバンク」とも称される。F.I.B JOURNALとして現在までに5枚のフルアルバムを発表している。最新作「紙よさらば」は、公開レコーディングで3時間で制作された。



タカツキ タツキ

「ラップ+ウッドベース」というかつて無いスタイルでヒップホップ界に突如現れた、東京、京都、NYを渡り歩く21世紀の吟遊詩人。またヒップホップ集団SMRYTRPSや、ポエトリーとラップのミクスチャーバンド SUIKA、ilala等数多くのユニットを手がける。



toto (トト)

すべてをやわらかく包み込む天性の声を武器にヒップホップバンド「SUIKA」のフロントマンとして3 MCの一翼を担い、フジロック出演等を経てこれまで5作品を発表。2011年1stソロアルバム「OtoO」(わとわ)を発表。ポエトリー・リーディングという独特のスタイルで降神(なのるなもない)、STERUSS、タカツキ、小林大吾等のアルバムへ客演。目の前の世界を瞬時に物語の世界へとかえる即興を交えたライブを続けている。



六弦詩人 義家

耽美な詩と幻想的な音を融合させた独自の表現形態を確立。2009年横浜赤レンガ倉庫で開催されたGANGSTER NIGHTでロバートハリス等と共演し鮮烈なデビューを飾る。2010年から都内各ライブハウスで精力的にステージを重ね2012年朝霧高原で開催された野外ロックコンサートいのちの祭り2012に出演。六弦詩人義家Blog真夜中の残響。
http://yoshiie-kouno69.cocolog-nifty.com/blog/



レイナ・ブルームーン

翻訳・通訳・ブックハンター・吟遊詩人・合法的産業スパイ、etc...とオフィシャルでは七つの肩書きを持つ、東京と湘南エリアで活躍するフリーランサー。



伊藤虹

1990年大野一雄に出会い踊りを始める。震災以降、自分の中でそれまでの活動歴がすっかり何もなくなりました。これまでの出会いに感謝しつつ、ゼロから始める、宇宙の踊り。



宮角孝雄

フォトグラファー。広島県生まれ。日本広告写真家協会会員。1988年、スタジオ宮角設立。雑誌やコマースシャルフォトを手掛けながら、ライフワークで平和をテーマに撮影を続ける。石井竜也氏プロデュースのグラウンドエンジェルに写真で参加。



救世軍本営 山室軍平記念ホール

東京都千代田区神田神保町 2-17

都営新宿・半蔵門線「神保町駅」A6出口、外へ出て右へ、徒歩30秒